

平成23年度 京都府立綾部高等学校（東分校全日制） 学校経営計画（スクールマネジメントプラン） （計画段階）

学校経営方針(中期経営目標)	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<ul style="list-style-type: none"> ・学力の向上と希望進路の実現 ・基本的な生活習慣の確立 ・豊かな人権感覚と人権尊重の実践的態度の育成 ・健康及び体力の維持・向上 ・地域社会から信頼される学校づくりの推進 	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厳しい社会情勢であったが、100%の希望進路を実現した。 ・ 調査前補習等新たな学習指導の取組ができた。 ・ 少しずつではあるが生徒の規範意識の高まりにより、たいへん落ち着いた学校生活が送れた。 ・ HPや広報誌等、一定の広報活動プログラムが完成した。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織的な生活指導の取組を進める。 ・ 持続可能な基礎学力充実のための取組を進める。 ・ 様々な課題を持つ生徒に対して、個に応じた支援体制づくりを進める。 ・ 中学校や地域との連携を更に進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業規律の確保と教科指導力の充実により、生徒の学ぶ意欲を向上させる。 ・ 希望進路を実現させるため、3年間を見通し系統的組織的な進路指導を行う。 ・ 規範意識を高め、豊かな人間性を育てる生徒指導を行う。 ・ 基本的人権を尊重する人権教育を推進する。 ・ 健康安全教育を着実に推進する。 ・ 地域・家庭及び中学校との連携を強化する。 ・ HPや広報誌等を通じて広報活動を一層充実させる。 ・ 農業クラブ活動、部活動の一層の活性化に努める。

分掌 教科	項目（重点目標）	具体的方策	評価	成果と課題
組織・運営	生徒募集対策の推進	学校説明会等の内容を再検討し、充実を図る。		
		中学校訪問等、宣伝広報活動を充実させる。		
教務部	学力向上と新教育課程編成	将来構想委員会を中心に教育課程の編成を進める。		
		基礎学力定着に向けての取組を学年部等と連携して行う。		
生徒指導部	規範意識を高め、基本的な生活習慣を確立する。	あいさつをする習慣や正しい入室マナー、言葉遣いを身に付けるように指導する。		
		定期的に服装・頭髪検査を行い、身だしなみを整える指導を徹底する。		
進路指導部	希望進路の実現	生徒の進路決定のための進路アンケートと基礎データの作成		
		インターンシップを中心とした企業開拓		
保健部	健康に対する意識の向上を図る	「健康教室」を引き続き実施し、健康を考える機会とする。		
		検診後の精密検査が必要な生徒の個別指導を実施し、健康意識を高める。		
人権教育部	豊かな人権感覚と人権尊重の実践的態度の育成	効果的かつ計画的な人権学習を進めるために、学年との連携を強化し、人権学習の充実を図る。		
		分掌や教科と連携し、あらゆる機会を捉えて、豊かな人権感覚と人権尊重の態度を育てる。		
農場部	農業クラブ活動の充実	生徒自らが行う農業クラブ活動の確立		
		農業クラブ活動を通じて、科学性、指導性、社会性を身に付けさせ進路実現の糧となる指導を行う		
第3学年部	進路指導	希望する進路の実現をめざして個別指導を強化する。		
		進路ガイダンスなどを活用して進路について真剣に考えさせる。		
第2学年部	学力の向上	毎時間の授業を大切にさせる		
		授業規律を確立させる		
第1学年部	基本的な生活習慣の確立	目的意識を持った生活を送り、規則や決まりを、責任を持って行動する。		
		遅刻や、無断欠席をしないようにする。		

事務部	財産・施設設備の管理、安全・安心・清潔な環境整備を行う。	学校運営に支障を来さないよう適切な維持管理を行う。 生徒・教職員が安全・快適に過ごせる教育環境整備に努める。			
国語科	日本語を正確に理解し、表現する能力の育成	豊かな表現力を養うために、数多くの表現に接するように機会を設ける。その手段として、読む指導に重点を置き、読書指導を充実させる。 漢字の小テストを継続して行う。			
地歴・公民科	教科の内容・方法・教材・評価の工夫	教科内容の精選と重点化をはかる。 興味・関心を引き出す教材や教具を開発する。			
数学科	学力向上	教科書の説明補助プリントを作成し、適宜補習を実施する。 少人数講座を活用したきめ細かい指導に心がける。			
理科	学力の向上	毎時間のねらいを定めて、ポイントのはっきりした授業展開を行う 適宜、授業外での個別指導を行う			
保健体育科	生涯体育につながる資質や能力の育成	意欲的に運動に取り組ませる。 服装・整列などの規律やあいさつを徹底させる。			
芸術科	基礎技術を充実させ自ら学ぶ意欲を育てる	授業規律を大切に 実技指導を通じて基礎力を養う			
英語科	学力の定着	オリエンテーションや考査前などの時期をとらえて、学習習慣をつけさせるための指導を行う。 生徒の実態にあわせた指導を行う。			
家庭科	自立する力の育成	生徒の興味・関心を引き出す教材を工夫する。 体験的な学習課題を多く設定する。			
情報科	各種コンピュータ関連資格の取得	日本語ワープロ検定3級取得を目指した授業展開をする。 情報処理技能検定3級（表計算）取得を目指した授業展開をする。			
農業科	学科の特色充実	特色ある教科内容の検討を図る。 教員の研修に努め専門力を強化する。			
園芸科	専門教育の充実	生徒の興味関心を高める授業・実習を実施する 地域連携を深め、学科の魅力を広める活動を行う			
農芸化学科	学科の特色充実	特色ある教科内容の充実を図る。 専門教育の充実を図るため、教職員の研修に努める。			
次年度に向けた改善の方向性					